

2020年度

三重大学 人文学部法律経済学科

## 特殊講義「協同組合論」



＜第5回(オンデマンド)＞

### 「消費者と協同組合」

田中 浩／生活協同組合コープみえ地域政策担当次長

第5回（11月2日）：受講46名（市民開放授業一般受講者等を含む）

社会の情勢は、大きく変化してきた。組合員との関係づくりも同様に難しくなっている。コロナ禍は、その関係づくりをより難しくしている。しかし、巣ごもり需要等から生協への加入が増え、供給は高い水準で推移している。

組合員が生協に加入する動機の多くに宅配事業の「利便性」がある。生協を利用していく中で、暮らしを守るための運動や活動をどのように伝え、知らせていくかが重要である。また、これまでの到達点を踏まえ、生協としての次の新しい時代を築いていかなければいけない。

#### 【第5回／講義の要旨】

- ・組合員のニーズは、地域のニーズでもありコミュニティの中で行う事業や活動は地域社会との連携も必要である。
- ・2003年に県内の4生協が合併しコープみえが誕生した。合併当時との比較では、事業高が約169億円から209億円に、組合員数は約10万人から約20万人となった。県内の4世帯中1世帯が組合員であるが、全国平均から見るとまだまだ低い状況にある。
- ・コープみえの基本理念は、「つながりあう安心、笑顔が輝く暮らし」である。また、2019年の総代会にて「SDGs行動宣言」を確認した。基本理念のもと組合員との絆を大切に、協同の力でSDGsの実現に貢献していくことにしている。
- ・新型コロナウイルス感染症の広がりから状況が大きく変化し、前年の供給実績を15%程度上回る状態で推移している。また、学校給食の停止により牛乳の消費が減ったため、生産者も守るという考えから価格を下げ、組合員の利用結集を呼びかけた。
- ・エシカルな考え方に基づく「エシカル消費」が注目されている。買い物時に、環境や社会など他者への配慮をプラスする消費のことである。エシカル消費は、SDGsの目標を実現するための重要な手段でもある。
- ・子育て支援や、高齢者支援、地域での見守り活動、被災地支援、環境保全活動を積極的にすすめている。「コープくらしの相談窓口」も特徴的な活動の一つである。

## 第5回講義／受講生のレポート（抜粋）

- ・今回も生協について学ぶことができた。前回同様生協は地域と共に作っていることがよくわかる内容だった。3つの柱があり、出資や増資、利用、運営である。生協を利用する住民自らが出資、利用、運用するのが特徴的であり魅力的であると思う。三重県の生活協同組合が1973年に設立され、約50年以上も前から存在していることには驚いた。人と人が繋がりあって安心して出資利用運営できることが何より重要だと思った。4つの視点もこれだけ長く存在するには重要である。地域、環境、社会、人々とそれぞれが成り立たないと上手くは回らないのでバランスも重要だと思った。
- ・地域の人々が意見を出し合って生協をよりよくし、地域の人々の生活を支え合っている。商品を納入するというだけでなく、その地域にあった商品を作ることができるというのが特徴的であると感じた。
- ・今までコープの配送車を見たり、大学の生協で商品を購入することくらいしか生協という組織の存在を感じたことがなかったのですが、今回スライドに登場した野菜ジュースに見覚えがあり家族に確認したところ私の祖父母が生協で購入して幼いころよく飲ませてくれたという話を教えてもらいました。今まで大学生としてしか生協と直接的な繋がりが無いと思っていましたが、実はこんなに身近にあったんだと少し感動しました。また、お年寄りの見守りをおこなったり連絡をしたりする活動から生協は本当に地域に根差した組織だと理解できました。
- ・住んでいる場所によっては車がないと普段の買い物も不便なところもあり、特に高齢者などバスなどを利用してスーパーに行くしか方法がないという人にとっては、生協は本当に生活の助けになっていると感じる。高齢化も進む中、今後も地域の住民・組合員のつながりのための重要な存在になると考える。
- ・店舗で食料品などを販売している店舗の事業のイメージしかなかったが、商品の宅配だけでなく、商品開発や相談窓口、被災地の支援など幅広く活動をしているのだと知り驚いた。地域に密着した活動を行うことによって、組合員とのコミュニケーションが取りやすくなるだけでなく、組合員の生の声を聞くことで、商品の改善や需要が把握しやすくなると思った。しかし、コロナ禍によって、組合員との集まりの機会が少なくなった、外出をはばかる組合員もいたりするなどの課題も発生しやすくなると考えられる。状況の変化にどのように対応していくのが今後の問題となると思う。
- ・今までは地域生協になんの知識も関心も持っていなかったが、今日の講義を通した少しは理解が深まったと感じる。特に、事業規模がここまで大きいとは思っていなかった。もっとこじんまりとした規模で、小規模ながらも地域に密着した組織だという認識であったが、実際は広い範囲ながらも地域との連携を強く持っている組織であることを初めて知った。2003年から2019年という短い期間で規模を2倍以上に増やしたことを考えると、その存在が地域にとっての必要不可欠で、そのニーズはますます高まっているだろうことがよく分かった。
- ・生協はただ単に商品を販売するだけの事業と認識されがちであるが、社会的な運動を行い、組合員や地域のニーズに応え、暮らしに貢献することを大切にしているため。そこへの認識、理解がより広まってほしいと感じました。
- ・今回の講義を通して、私は、コープみえは食品販売・運送を行っているイメージが強くて、それ以外の活動を知りませんでした。しかし、本当に幅広い活動をしていて、とても驚いた。私は、三重県に貢献したいと考えているので、この講義で学んだこと以外にもコープみえの実績や今後の活動をもっと調べたいと思った。

- 日本は経済発展とともに地域のつながりというものが薄れてきましたが、これから少子高齢化に対応するために子育てやお年寄りの支援を行うには今こそ地域のつながりが必要なので、協同組合は重要な存在になるだろうと思います。実際、子育て支援では子育てしている人たちが会する企画があったり、高齢者支援では見守り活動や日々の宅配がコミュニケーションの機会になっていたり居場所づくりがすすめられていて、これから認知が高まっていけば協同組合への期待も高くなると思います。
- 大学生協しかり、コープみえのような協同組合は、自分たちのような加入者がサービスを受ける側であることが多く「客」のような立ち位置に見えることも少なくないが、加入者ひとりひとりが組合員としてその理念を知り、自分たちにできることをしていく。
- コープみえの創立当時の志である「自分たちの手でより安全なものを安く供給しよう」という考えが大切だと思いました。どれだけ安全でも高かったら消費者のニーズに合わないし、どれだけ安くても安全性が低かったら同じ様にニーズに合いません。この志は、お客様に寄り添った素晴らしいものだと思います。また、商品開発の面では地元の産物を使った商品を開発していて地元に着実に密着して良いと思いました。地元「とり焼き肉」の商品が出ていることがとても嬉しく、また、食べてみたいと感じました。このまま生協によって、とり焼き肉が東海地方、また全国に広まれば、地域の活性化に繋がると思います。
- これから、必要なことは子育て世代と高齢者層以外の利用者をどのように増やしていくかが課題になってきていると思います。私はちょっと高級なお取り寄せなどを用いて利用者が少ない世代を取り入れるのではないかと感じました。また、コープみえのその他の組合員活動である被災地支援や高齢者支援、環境保全は私たちが今、直面し対策しなければいけないものであるため、これらを生協で行うことは組合員の問題意識を高めることにも繋がるのではないかと感じました。
- 利用についての組合員アンケートで、年代ごとに求めているものが異なっていることを見て、年代や時代に合わせて変化していく必要があると感じた。夕食宅配や見守りに関する協定などをみて、ただ見守りを目的とするのではなく、配達など他のものと連携して見守りを行っていくことで、見落としも少なくなり全体の負担も軽減できると思うので良い取り組みであると感じた。生活困窮者支援に関する協定について、商品のキャンセルや注文ミスなどは必ず存在するがそのような商品を廃棄するのはもったいない。そのような本来は廃棄になっていた商品を無償提供することは、食品を提供された人が救われるだけではなく、食品ロスの削減などの問題の解決にもつながるいい取り組みであると感じた。
- 南勢や東紀州は交通網が十分には整備されていない、過疎化高齢化による地元民の外出の困難化によって、組合員はコープみえに対して、商品やサービスを提供してもらおう機会の増加（利便性）を求めていると考えられる。よって、コープみえの従業員はより地域の組合員とのつながりが必要であると感じた。多少、送料などのコストがかかったとしても組合員はそのことを十分に理解しているし、それでも商品やサービスを提供してほしいのではないかと感じた。そして、コープみえ（生協）に生活を支えてもらうことが過疎化高齢化の地域を存続させるために必要であると感じた。
- 地域の人々が住みやすい環境や、消費者が安心できる地域づくりを人とのつながりを大切にして行っているということに、興味を持ちました。著しい時代の変化に対応するためにも、地域や組合員との連携が不可欠であるということを理解できました。

以上